

第5回 JAMBIO フォーラムのご案内

筑波大学下田臨海実験センターと東京大学海洋基礎生物学研究推進センターの連携による組織「マリンバイオ共同推進機構（Japanese Association for Marine Biology; JAMBIO）」では、我が国の海洋生物学分野の共同利用・共同研究を推進しております。

このたび「海・湖の生物の多様性と営み」をテーマとして第5回 JAMBIO フォーラムを開催いたします。ぜひともふるってご参加ください。

開催日時：2016年2月10日(水) 13:00-17:35

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎 1階 134 講義室
(丸ノ内線茗荷谷駅徒歩2分)

参加費：無料（事前登録不要）

プログラム

第1部 基調講演「海洋生物の多様性」

井上勲（元筑波大学生命環境系）「藻類、地球史と生物進化の隠れた主役」

濱崎恒二（東京大学大気海洋研究所）「太平洋における細菌プランクトンの多様性と機能」

藤田敏彦（国立科学博物館）「海生無脊椎動物の分類と多様性」

第2部 臨海臨湖実験所・センターからの発表

岡崎友輔（京大大学生態学研究センター）「湖沼の有酸素深水層に注目した微生物群集の研究」

堀田拓（九州大学天草臨海実験所）

「Algal habitat structure and its associated benthos relationships」

依藤実樹子（琉球大学熱帯生物圏研究センター）

「エダウミヒドラ科（刺胞動物門・ヒドロ虫綱）の多様性」

Frederic Sinniger（琉球大学熱帯生物圏研究センター）

「From specimens to environmental DNA, perspectives and challenges in biodiversity studies」

森田望美（筑波大学下田臨海実験センター）「室内飼育からみるヒラムシの成長過程」

北橋隆史（新潟大学佐渡臨海実験所）

「ゼブラフィッシュ脳内の非視覚光受容体 VAL オプシン発現ニューロン」

第3部 JAMBIO 利用者からの発表

本多大輔（甲南大学理工学部）「菌様原生生物ラビリンチュラ類の海洋生態系における役割」

脇本敏幸（北海道大学薬学研究院）「海綿由来の天然物を生産する共生微生物の解明」

富永英之（元福井県立武生高等学校）

「顕著な性的二形性を示す日本産 Ophiodaphne 属クモヒトデ類の分類学的検討」

瀬戸繭美（奈良女子大理学部）「個体群動態モデルを用いた環境変動に対する生物応答の予測」

問い合わせ先 筑波大学下田臨海実験センター内 JAMBIO 事務 jambio@kurofune.shimoda.tsukuba.ac.jp